

出来る時に、
出来る事を、
出来る人がヤル

さんさん 燦燦ニューズレター

発行 上智大学金祝燦燦会
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学ソフィア会事務所気付

今年の総会と懇親会は
対面で開催します

今年の総会と懇親会は対面で開催します。昨年
の総会で、会則の改訂を除き毎月開催される「運営会議」を燦燦会の最高議決機関とする会則の改訂が承認されました。今年
の総会は会則の改訂がないために、23年度の会務の報告会となります。詳細については同封の「2024年総会のお知らせ」をご参照ください。

サリ理事長をお招きして

大学、学院の現状について講演していただきます！

日時：2024年5月10日(金)

ソフィアンズクラブにて

- ・総会(報告会) 13:00
- ・サリ理事長による講演会 14:00
「学院と大学の現状について」
- ・懇親会 14:30

当日は、クラブのA、B、C会議室を使用して総会に続き懇親会を開催します。会員の皆様には懇親会の参加費として3000円をお願いします。

コロナ禍で母校に足が遠のいてしまっている方も、総会を「口実」に久しぶりの対面による総会と懇親会に参加してキャンパスを散策されてはいかがでしょう。今回は懇親会に先立ち、サリ理事長に30分ほどの講演をお願いします。理事長は燦燦会の設立当時から会の留学生支援活動を見守っていただいていますので、今までの燦燦会の活動や今後に対する思い等についても語っていただけるものと思います。理事長は燦燦会の顧問にも就いていただいています。お話が楽しみです。

なお、講演会および懇親会にご家族の方の参加も歓迎です。お孫さんに母校を自慢するにはまたとないチャンスですよ！ご家族を同伴される場合の同伴者の参加費はお一人2000円となります。

総会はZoomでも配信します。URL は同封のお知らせをご覧ください。なお、総会、懇親会は会場の都合で申し込み順となります。事前申し込みをお願いします。



お申込みはこちらから

第2回上智大学留学生夢支援懸賞論文奨学金の授与式が開催されました

表彰式・発表会

2023年11月24日

論文は、留学生が上智大学を卒業した後、大学で学んだ知見をそれぞれの母国あるいは日本でどのように活かして実践していくかの「夢」を語ってもらいます。第2回は8件の応募があり、厳正な二次審査を経て、この度、最優秀賞が決定し、優勝者には留学生夢支援奨学金より賞金20万円が贈られました。さらに、一次審査をパスした3名には燦燦会から努力賞として2万円が贈られました。「留学生夢支援奨学金」は、金祝燦燦会が第1回「教皇フランシスコ来学記念表彰」を受賞したことを記念して設立されたものです。



第2回 上智大学留学生夢支援懸賞論文奨学金

Sophia University
International Student
Essay Contest for
Dream Support
Scholarship 2023

燦燦会が企画に関わって11月24日に開催された「第2回上智大学留学生夢支援懸賞論文奨学金」の授与式についての報告が、大学のホームページに掲載されました。論文のテーマは、「日本で、上智で学び、かなえたい私の夢～上智で学んだ事を母国や社会にどう活かしていくか～」で、最優秀賞を受賞したナイジェリア出身のナエメカさんは母国が直面する水不足・汚染等の課題を改善する「夢」をスライドを用いながら情熱をもって発表しました。授賞式の様子と論文の発表は、下記の

受賞者

サムエル レスリー ナエメカ
Samuel Leslie NNAEMEKA



第2回受賞者のナエメカ氏
ナイジェリア連邦共和国
博士前期課程地球環境学専攻
地球環境学専攻



QRコード/URLにある約16分のYouTubeビデオにまとめられています。

[上智大学留学生夢支援懸賞論文発表-2023 \(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...) (冒頭、CMが流れます)

なお、論文発表後、論文を補足する意味で、ナエメカさんは燦燦会の会員に向けて講演会を開いてくれました。その記録は別ページにある「ナイジェリアの未来に向けて - 教育や地域社会の向上を通して私がこれから目指すもの」をご覧ください。ナイジェリアの教育システム、伝統文化、食べ物、彼の出身地等について詳しく説明した後、改めて上智で学んだ知見を母国で活かしたいと大きな夢を語ってくれました。

第13回俳句コンテスト



すっかり恒例となっている燦燦会主催の俳句コンテストは13回目を迎え、今回は中国、アメリカ、韓国、東チモール、インド、ベトナムの6ヶ国から7名の留学生の応募がありました。日本語句が7句、英語句が17句の合計24句でした。1月19日に Zoom による表彰式を執り行い、昼休み中の開催となりましたが当日ご出席いただいた、上智学院、大学およびソフィア会の関係者からお礼の言葉をいただきました。

◇ 大塚寿郎 上智学院総務担当理事

本日は俳句コンテスト表彰式に参加させていただき、大変勉強になりました。留学生たちの言語感覚を垣間見ることができましたし、とくにコメンテーターの的確な指摘を楽しんで聞かせていただきました。文学を専門としているものですから、余計に興味をもって伺うことができたのではと思います。いつものことですが、燦燦会の活動が留学生への励みになっていることを拝見し、感謝の思いを新たにしました。

◇ 永井敦子 上智大学副学長

燦燦会の皆様のチームワークとご準備により、スムーズな会の進行がなされ、敬服いたしました。留学生にも、スピーチより俳句のほうが得意という学生も、逆の学生もいると思います。いろいろな学生に参加の機会を提供くださり、あらためてお礼申し上げます。

◇ 柳澤広美 上智大学学生局長

燦燦会の皆さまには、いつも学生のためにご準備から当日の運営までお心遣いいただき、心より感謝申し上げます。学生たちが俳句を通じて、日本の情緒の理解が進んでいるのを実感いたしました。

◇ Angela Yiu, Ph.D.

Dean, Faculty of Liberal Arts, Sophia University
Thank you for a heart-warming ceremony, and I love

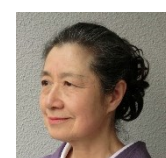
the beautiful slides. Yes, please feel free to send the comments to the students. I look forward to assisting you again in the spring/summer contest.

◇ 日比谷潤子 上智大学ソフィア会副会長

学生が授業等で忙しく時間が限られているなか、周到なご準備により式が滞りなく終わって、本当によかったと思います。お話したとおり、俳句を鑑賞(教科書で読む程度であっても)することはそれなりに多くの学生が経験しますが、自分で作るとなると話は別で、すばらしい作品が集まったのには感心しました。また、今後のさらなる改善を促す要素が盛り込まれた講評もすばらしく、私も勉強になりました。

シリーズ

燦燦会の役員に聞く③ 会員募集 柴田ひさ (69 外露)



「留学生のために、留学生と共に」の燦燦会に連なれることを嬉しく感謝の気持ちです。半世紀余前、夫の米国留学に伴った私は、その時受けた数々の感激が忘れられません。暖かな受け入れとプログラムの豊かさに驚きました。マザーテレサの「ベナレスに来なくても、今居る所で」の言葉を思い出し、ご恩返しとまではゆきませんが、「留学生の為に何か出来たら」、は長年の夢でした。

娘達が幼稚園に通う頃、高校生が我家で暮らし、楽しい経験が出来ました。その後、母校の留学生を我家で受け入れたく、申し込みましたが、通学時間をクリア出来ず、諦め、娘達の大学の受け入れプログラムで、10ヶ月や4ヶ月の滞在や、食事等に我家に招くことを続けました。娘達が家を離れた後はいつも男子学生が滞在しました。我家では親に敬語で話すので、専ら同年代の学生同士で話す留学生にとっては良い経験だった様です。又、お客様いはず、娘達と同様に家事分担のお手伝いがあったのも良かったと思います。

夫婦共に後期高齢者となった現在、もう若い頃のような我家に受け入れのエネルギーはありませんが、今、燦燦会を通して留学生から様々な刺激が頂けるのは喜びです。留学生達は若い発想と感覚で日本のことを羨ましい位、吸収してゆきます。こうした好奇心に溢れた優秀な留学生達と定期的に交わる機会を持つ燦燦会は素晴らしく、殊に、72歳からという点でも、今後、様々な場面のお手本となる組織と思います。嘗ての級友、谷地元瑛子さんが、現在打ち込んでいる連句の分野で、俳句コンテストに貢献は頼もしい限りです。

「出来る時に、出来る人が」のモットーは、長い目で見たら、楽しみながら、ずっと先まで続く、賢い繋がり方だと実感します。

金祝燦燦会について

新しく入会された会員はこんな印象を持たれています

金祝燦燦会は、「留学生のために、留学生と共に」を活動理念として、「出来る時に、出来る事を、出来る人がヤル」をモットーに活動しているソフィア会の登録団体です。具体的な活動は次の通りです。

- ✓ 金祝勉学奨励金の授与
 - ✓ 俳句コンテスト
 - ✓ 留学生による月例講演会
 - ✓ 日本語のスピーチコンテスト
 - ✓ 茶の湯にふれる会
 - ✓ ASFでの『お休み処』懇親会
 - ✓ 浴衣デーで浴衣の提供、着付け教室の開催
 - ✓ 「留学生夢支援募金」で懸賞論文の企画
- ◇ 劣等生ながら、上智大学が大好きな私は、例え少しの時間でも大学を思い出せる時間を燦燦会に作っていただけで嬉しいです。参加させていただく機会を、楽しみにしております。(71年卒 MI さん)
- ◇ 会長より丁寧なメールを頂きまして、少々ビックリしつつ

誠に有り難うございます。10/7の祝賀会には同期生より声を掛けられて参加しました。校内に入るのも久しぶりで校舎等随分変わったなーと感じながら出席致しました。会にはアガスティン・サリ理事長が出席されてとてもビックリ致しました。それも理事長に成られていたので、尚更です。私はまだ後継者が不在であり、現役で仕事をしています。早く子供に思っているのですが・・・そんな状況なので、中々時間が取りにくいですが、ご協力出来ることはしたいと思います。宜しくお願い致します。(72年卒 MU さん)

- ◇ ご丁寧なご連絡を頂き感謝申し上げます。燦燦会の趣旨を詳細に亘ってご説明頂き、私なりに理解を深めさせていただきました。私が出来ることは限られると思いますが、微力ながらお手伝いをさせていただきます。今後とも宜しく願い申し上げます。(72年卒 YN さん)
- ◇ 私は先日の授与式に出て少し燦燦会活動を垣間見た気がしました。役員・諸先輩の姿に学ばせていただきました。実際に何をどうしているのか聞くより見る、行く(ただ行くのではなく役割がある)ことが大切だと思います。燦燦会に入会してすぐに活動するのは難しいとしても、まずは間接的でも参加してみよう様子を見ることは可能だと思います。よろしく願います。(70年卒 KY さん)

会員募集

コロナで中止となっていた70年～72年卒の金祝祝賀会が2023年10月に相次いで行われ、燦燦会も入会案内パンフレットを用意し、案内デスクを設けて新入会員の勧誘を行いました。この間、金祝卒業生への入会勧誘の機会が無くなり、新規入会者が激減した結果、終身会費で賄われている運営活動費が底を突きかけ、新しい会員の獲得が、喫緊の課題となっていました。写真やイラストを用いて新たに作成された案内パンフレットと、会員の声掛けによって、この3回の祝賀会で計25名の金祝卒業生が入会してくれました。この祝賀会以前に入会してくれた方々を含めると、70年～72年卒の会員は合計52名を数えています。

しました。燦燦会では、金祝実行委員会の協力を得て、式典参加者への資料手つけ袋の中に入会案内パンフレットを同封してもらうというコロナ前の方式を復活させたほか、祝賀会会場の外に案内デスクを置いて、参加者への声掛けを行いました。その結果、その場で5名の方々に入会手続きをいただくことが出来ました。

その後も、「金祝のパンフレットで燦燦会のことを知り、少しでも社会勉強ができれば、また微力でも何かのお役に立てればと思い、入会いたしました。」「何かお役に立てることがあればと入会させていただきました。」等々の反応があり、73年卒以降の新入会員は16名となりました。

おかげさまで、3月末現在で燦燦会の実質会員数は合計416名となりました(物故者、連絡不要の通知者等を除く)。

1973年卒金祝祝賀会での会員募集活動



73年卒の金祝式典・祝賀会は2024年2月24日に行われました。従来は、5月のASFと同時に行われていましたが、大学の年間カレンダーの事情で、今回から翌年の2月に行われるように変更になったものです。今年の式典には凡そ270名、祝賀会には320名の73年卒の卒業生が参加

募金状況

昨年度一年間の一口千円募金の実績は、136件、1,133,530円でした(学院による締め日は毎年1月末)。多くの会員の方々にご寄付をいただきありがとうございました。学院のご協力を得て燦燦会の活動の原資として大切に使用させていただきます。これからも皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

レイアウトを変更しました、いかがでしょうか。久しぶりの対面による総会と懇親会です。ワクワクします。サリ理事長による講演会、今から楽しみです。俳句コンテストに対する皆様の評価、励みになります。夢支援懸賞論文の受賞者は、ナイジェリア出身のナエメカ氏で第一回に続き今回もアフリカ出身です。上智大学で学んだ知見を母国で活かすことを夢に学問に励んでいる彼等、大学がアフリカ地域への理解を促進し連携を深めている成果の表れではないでしょうか。昨年度は一年間で4卒業年分の祝賀会が個別に開催され、我々はそのすべてに参加することができ会員の募集を行いました。新たにお迎えした皆様のご期待にいかに応えるか、一緒に考えましょう。(MI)

下記は、「第2回上智大学留学生夢支援懸賞論文奨学金」の受賞者であるナエメカ氏の講演会後の会員との質疑応答です。同封の講演会記録と一緒にお読みください。英語による質疑応答を会員の佐藤洋子さんに要約していただきました。



Q: 現在、ナイジェリアからの留学生は上智にどのくらいいらっしゃるのですか？

Nnaemeka: 沢山います。皆、上智に来て初めて知り合った学生達です。

Q: 宗教についてですが、ナイジェリア国民にはイスラム教徒が一番数多く、次に多いのがキリスト教徒とおっしゃっていましたが、キリスト教徒の人々の具体的な宗派を教えてください。

Nnaemeka: 西部と東部地域の人達は殆どがキリスト教徒で、正教会(オーソドックス)、プロテスタント、カトリック、聖教会(アングリカン)などの宗派に分かれます。ただキリスト教徒の半分以上はカトリック信者です。私は最初に入った学校が神学校だったのでカトリックです。

Q: ナイジェリアの食べ物についてですが、エグシ・スープの材料は何ですか？

Nnaemeka: 先日日本の TV でもナイジェリアの食について特集がありました。エグシ・スープに入れるものの一つは調理用メロンです。

Q: 中古車についてですが、日本の車でどのような会社の車がナイジェリアでは人気ですか？例えばトヨタとかはどうですか？

Nnaemeka: ナイジェリア国民は日本製品には何にでも大変良い印象を持っています。例えば日本製の PC とアメリカ製の PC があれば、ナイジェリア国民は迷わず日本製を選びます。中古車で言えば、トヨタはとても人気があります。日本の製品は長持ちし、品質も良いのでナイジェリア国民の信頼を得ています。

Q: ゴミ収集についてお伺いしたいのですが、Nnaemekaさんの出身地域では何か決まりがありますか？例えば日本ではゴミは分別して週に何度か収集されるのですが、そのような規則がありますか？

Nnaemeka: 残念ながらナイジェリアにはそのような規則はありません。人々は何処にでもゴミを捨て何でも政府に任せきりにしています。その意識を改め、規則を定めることが第一だと考えています。私自身の調査や経験から考えると、地域を巻き込んだ政策を決めるのが一番良いと考えています。そのわけは、アフリカでは、それぞれの地域にいわゆる王様のような指導者がいます。地域の人達はその指導者を大変尊敬しているので、その指導者の言うことには何でも従います。このようなゴミ収集政策についても、まずその指導者に話す必要があり、指導者が納得し皆に伝えれば人々は従うと思います。

Q: ナイジェリアで一番の工業は何ですか？原油精製やガスがナイジェリアでは盛んだと思うのですが、その他の貿易についてはどうですか？

Nnaemeka: ナイジェリアにはとても多くの油田があり、現在の一番の工業は原油精製です。原油が見つかるまでは、ナイジェリアは農業国であり農産物の輸出国でした。しかし現在の政府が最も注目しているのが原油で、輸出の殆どを原油が占めています。農産物やカーパーツなどが輸出に占める割合は少ないです。

Q: ナイジェリアでは大学進学率はどのくらいですか？例えば、Nnaemekaさんの年代では？

Nnaemeka: ナイジェリアの西部や東部地域では10人のうち8人が進学しますが、北部地域になると10人いるうち進学する人は1人です。

Q: 上智大学にはナイジェリアからの留学生が沢山いるようですが、最初に会った時にすぐ同じ民族のナイジェリア人だと分かりますか？私達アジア人は日本人だか、韓国人だか、中国人だか、一目ではなかなか区別が付きにくいのですが。

Nnaemeka: アクセントや容貌ですぐに分かります。特に留学している人達は教育に関心の深いイボ族が多いので、すぐに分かります。

Q: 今、おいくつですか？ご家族はいらっしゃいますか？来日してどのくらい経ちますか？浦安に住んでいらっしゃるようですが、上智大学への通学は便利ですか？

Nnaemeka: 私は今年34歳で独身です。日本に来て1年8ヶ月になります。通学にはそんなに時間はかからないので楽です。

Q: 日本に数ある大学の中でどうして上智を選んだのですか？

Nnaemeka: 私は神学校に通っていたので神父の友人がいました。その人が日本の上智大学を勧めてくれたのです。

Q: 今後の計画は？

Nnaemeka: 私は3月に卒業の予定ですが、その後ナイジェリアに帰る前に1年くらい日本に滞在して仕事をして経験を積みたいと考えています。

Q: 気候変動による地球温暖化や二酸化炭素の排出は大きな問題ですが、ナイジェリアの水資源に与える影響は？

Nnaemeka: 気候変動はナイジェリアの河川地域に特に大きな影響を与え、この2年程続けて、特に2022年には大洪水が発生しました。河川地域に住んでいた人達は家や財産を失い、他の地域に移動することを余儀なくされました。大洪水によって農地が失われ、農作物は大きな被害を受けました。

Q: 日本食の中で、一番好きなものは何ですか？

Nnaemeka: 味噌ラーメンと焼き魚です。

Q: 焼き魚の好きな外国人は初めてです。ビックリしました。ナイジェリアでは皆さん魚を食べるのですか？海の魚はどうですか？納豆はどうですか？

Nnaemeka: はい、ナイジェリアでは一般的に川魚を沢山食べます。海の魚も大変美味しいと思いましたが、納豆はちょっとダメです(笑)。

ナイジェリアの未来に向けて

～ 教育や地域社会の向上を通して私がこれから目指すもの ～

第2回留学生夢支援募金
懸賞論文奨学金受賞者による
講演録^{注)}



サムエル・レスリー・ナエメカ
Samuel Leslie NNAEMEKA
上智大学地球環境研究科博士課程前期

懸賞論文は、留学生が上智大学を卒業した後、大学で学んだ知見をそれぞれの母国あるいは日本でどのように活かして実践していくかの「夢」を語ってもらうものです。受賞者のナエメカ氏には留学生夢支援募金より賞金 20 万円が贈られました。「留学生夢支援募金」は、金祝燦燦会が第1回「教皇フランシスコ来学記念表彰」を受賞したことを記念して設立されたものです。

まず最初に

今日はお招き、ありがとうございます。これから少しのお時間、私の個人的な経験についてお話しさせていただきます。

まずは、私が上智に来るまでの私の学業的背景や故郷ナイジェリアでの生活、ナイジェリアの教育システムについてお話しします。その後、私のホームタウンをご紹介したり、ナイジェリアの国内外の様々な社会的事情やその多様な文化についても述べたいと思います。更に上智で学生生活を送っていくうちにそれがどの様にして私の希望や夢を形作っていったかについてもお話しし、その後私の未来に向けての夢やナイジェリアでの将来の活動について触れたいと思います。故国ナイジェリア国民の生活向上のために、その教育や地域社会の情報を織り交ぜつつ、私の夢や希望についてご紹介できれば嬉しいです。

ナイジェリアの教育システムについて

最初の写真はナイジェリアの小学校の典型的なクラスルームです。ナイジェリアの教育システムは、16 年間のシステムです。まず、3 年間のローワー・ベーシック

Education System in Nigeria
Below is A Picture Of Primary School Pupils in Nigeria



コースと 3 年間のミドル・ベーシックコースがあります。これらは日本で言う小学校です。次は 3 年間

のジュニア・セコンダリー、これは、いわゆる日本の中学校、そして 3 年間のシニア・セコンダリー、日本の高校に当たります。それらを修了した人達は、大学へ 4 年間または技術を求めて専門学校へ進学となっています。

ナイジェリア教育省がこの教育制度を監督していますが、公立の学校については地方行政が独自の政策を実施しています。幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校・大学とナイジェリアの教育は分割されていますが、教育の質やカリキュラム、そして予算についても部族や地域によって大きな格差があり、ナイジェリアの未就学児童数は世界で一番多いのが現状です。例えば、ナイジェリア北部ではナイジェリア西部や東部に比べて、教育の機会が極端に少なく、そのため多くの子どもたちが教育を受けられないままです。

又、ナイジェリアでは、小学校から教育は英語で行われていましたが、近年、人々が地域の言葉を尊ばなくなったことを政府は重要視し、2022 年の計画では、小学校では英語ではなく、地域の言語で授業をすることが目標にされました。言語政策の変化です。

ナイジェリアの地域



注) Nnaemeka 氏は、2023年11月に開催された上智大学主催の第2回留学生夢支援募金懸賞論文奨学金授与式で受賞され、その時に発表した論文を補足する形で1月に約一時間にわたり燦燦会会員のためにリモートで講演をしてくださいました。この記録は英語で行われた講演をまとめたものです。なお、授与式と論文の発表の様子は https://youtu.be/F7_isiVKV4M でご覧いただけます。

これはナイジェリアの地図ですが、一番広い地域の北部ナイジェリアでは学校の数は大変少なく、生活程度も低いので、教育を受けられない子どもたちの率が一番高くなっています。私の出身である東部ナイジェリアは北部に比べると大変小さな地域ですが、西部ナイジェリアと共に教育環境は整っていて就学率も大変高いです。又、地域によって宗教の分布も異なり、北部ナイジェリアではイスラム教徒が殆どですが、東部や西部ナイジェリアでは殆どがカトリックなどのキリスト教徒です。

ナイジェリアの文化と伝統

私の出身地、ナイジェリア東部のイボ族の地域には民族の文化を表現している伝統的なお祭りがいくつかあります。日本にも、ねぶた祭、七夕祭り、阿波踊り

NIGERIA CULTURE AND TRADITION

Most Revered Masquerades In Igbo Land



などありますが、ナイジェリアにもイボ族の伝統的なお祭りが存在します。マスクや装束や衣装を着けて、音楽を鳴らしながらイボ族の地域を踊り巡ります。これは百年以上も前から続いている伝統的なお祭りで、国のあらゆる地域から見物の人達が集います。

ナイジェリアの食べ物

ナイジェリアやガーナやカメルーン、ギニアなど、西アフリカ地方で一般的によく食べられているのが、エ

POPULAR FOODS IN NIGERIA

PICTURE OF RICE AND EGUSI SOUP (STAPLE FOODS IN NIGERIA)



グシ・スープやジョロフ・ライスです。写真の左はエグシ・スープです。右はジョロフ・ライスといわれ、お米料

理です。日本のお米は粘り気がありますが、ナイジェリアのお米は粘り気がありません。そのため、日本ではお米は箸で食べますが、ナイジェリアではスプーンを使って食べています。この2つの食べ物は西アフリカでは一般的な料理です。

私の故郷と私の部族イボ族

私の故郷である東部ナイジェリアはイボ族が住む地域であり、文化的に貴重な場所や名所などが数多くあります。

イボ族の職業

東部ナイジェリアのイボ族地域では、自動車のスペアパーツ(予備部品)や車の中古パーツを扱う業者をよく見かけま

Highlights of My Hometown

Igbo Car Spare Parts Traders



す。イボ族の業者達は中古自動車を日本で仕入れたり、中古パーツやスペアパーツを日本

で買ってナイジェリアに輸入し販売したり、中古車を再生して輸出したりして利益を得ています。私の故郷東部ナイジェリアではよく見かける一般的なビジネスです。

自動車産業に従事している多くのイボ族は、特に日本の中古車を扱う仕事をしている人が多いため、ナイジェリアは日本と大変関係が深いのです。そのため日本では数多くのナイジェリアからのビジネスマンをよく見かけますが、彼らの殆どはイボ族の人達です。

イボ族の市場

これはナイジェリアの典型的なスーパーマーケットの

Highlights of My Hometown

Igbo Market Traders selling cassava flour and other staple foods in Eastern Region of Nigeria



様子です。様々な地域から沢山の商人が集まり、色々な物を並べ、消費者が集まり買い物をします。

イボ族の地域では、特に土曜日毎にマーケットが開催されて、東部ナイジェリア中から商人が集まり、日用品や食品などを売っています。

イボ族の特徴とその影響力

世界中何処にでもイボ族を見かけます。特に東部地域に住むイボ族はアメリカやカナダ、ロンドンなど、様々な国で見かけます。イボ族はビジネスや留学などで各国を訪れているので、イボ族に会わない場所は世界中何処を探してもないと言っても過言ではないでしょう。

イボ族の自動車産業での世界的な影響力は大変強く、特にナイジェリアでは、日本や欧米の国々からの中古車の輸入や売買をしているので、その影響力は絶大です。

ナイジェリアはいわゆる発展途上国に分類されており、特に日本、アメリカ、ヨーロッパそしてその他の地域との中古車産業に依存している国です。この中古車の輸入や売買のネットワークを一手に引き受けているのがイボ族の輸出入業者達で、彼らの独創力豊かな企業家魂がナイジェリアの自動車産業の礎を形作っています。

私の上智での生活

学業経験

上智で勉強することはチャレンジングであり、と同時に私にとっては充実した取り組みでした。上智の新しい教育環境の中で、私は多様な教育論に出会い、様々な文化的視点や学術的な期待を大きく膨らませることが出来ました。自分自身の視点にも変化がみられ、ますます学問への期待が高まったのを感じています。勿論、私は挫折や停滞も経験しましたが、ここでの勉強によって、私の故郷と日本という二つの全く違った世界の橋渡しをするという変革力を得られたと思っています。

又、一方、社会通念に挑戦する講義から異文化理解を促進する共同プロジェクトまで、上智での様々な学問的経験は私の知的成長を形作るのに大いに役立っています。ユニークな学術環境で、教科書を超えたグローバルな視点も学ぶことが出来ました。

私は、ナイジェリアという全く違った世界から上智にやってきましたが、様々な講義を通じて、文化をまたいで理解をするという力を得ることができ、色々な経

験をしました。この教育経験を通じ、学ぶことは教科書を超えた世界的な視野を得ることだという考えに到達できたことは素晴らしい事だと思っています。

世界を結び、文化的にも国際的にも適応すること

上智での生活は又、単に学問の追究だけではなく、それは世界中からの文化の糸が織り込まれたタペストリーのようなものでした。様々な国からの留学生の中に居て、私は文化的な交流の素晴らしさと、色々な文化の違いを受け入れることの重要性を発見しました。文化的なイベントへ参加する事で、多様な背景を持つクラスメートとのつながりを持つことが出来たことも嬉しかったです。これらの経験が自分の世界観を広げ、地球人としての自覚を形成してくれることになりました。

この写真は私が上智に来たばかりの時、クラスで発

A Picture Of Me During My Presentation In Class



表している所ですが、私にとっては大変興味深い体験でした。というのは、ナイジェリアでは、このような機会が全くありませんでした。上智に来たことで、世界中からの留学生達を前に自

分の考えを述べ、それを皆と共有したり、質問を受けたり、また教授に質問したりして、自分のことを皆に理解してもらえるととても素晴らしい時間を持つことができました。

ナイジェリアの現状

水質汚染

この写真はナイジェリアの一般的な風景です。水質汚染が至る所に見られます。これはナイジェリアには

Water Pollution In Nigeria



正しいリサイクルの政策がないからです。

日本では、リサイクルが大変上手く組織化されていますが、ナイジェリアではそのような規則がないために、誰もがゴミを海や、河など、何処にでも捨てます。そのためゴミで河はせき止められて悪臭を放ち、国民生活に大きな影響を与えています。

ガス・フレアリング

こちらはナイジェリアのガス・フレアリング¹⁾の様子です。

GAS FLARING IN NIGERIA



ナイジェリアの東部や西部では、原油生産量がアフリカでは一番です。製油所が至る所に見ら

れ、毎日、原油精製が盛んですが、その際に放出されるガスが炭化水素を空中に排出するので近くの河川を汚染しています。そのため川では魚が死に製油所近くの地域の水は汚染され、ナイジェリアの市民生活に大変な被害を与えています。政府は原油輸出からの利益だけを考えているので、その結果に伴う国民生活への被害についてはまだ適切な対応や政策がないというのが実情です。

1) 天然ガス生産時に発生する余剰ガスの一部を焼却処分する事をフレアリングといい、その際二酸化炭素等を空中に排出する

飲料水不足

Dreams and Aspirations

Aspirations for Community and Beyond

Communities Suffering From Lack Of Potable Water



気候変動や、又、原油精製などによる人為的な原因も加わりナイジェリアの地域社会ではどこでも飲

料水が不足しています。ナイジェリアはアフリカでは人口が一番多いのにも関わらず、飲料水不足に対する適切な政策がありません。これはナイジェリアの地域社会全体の抱える問題です。

私の夢と希望

現在、上智の地球環境学で修士号取得を目指している私ですが、今、特に注目していることは、ナイジェリアの国中で見られる水問題です。飲料水不足のナイジェリアでは、緊急に、第一に考えなければいけない問題は水管理なのです。

水プロジェクトとこれからの私の進む道

これからは上智での勉強で、持続可能な水資源をナイジェリアにもたらすという知識を更に身につけ、ナイジェリアに帰ったらすぐにも実践的な解決策への取

Dreams and Aspirations

Aspirations for Community and Beyond

The type of water projects I intend to bring to my community



り組みを進めたいと考えています。この取り組みは、勿論私自身の個人的な目標を超えたもので、

実際的にはこれから様々な企業やその関係者たちと協力しあっていかなければ出来ない事だと思いますが、まずは目に見える確実な目標を掲げて、水資源の責任ある利用法を提唱していくつもりです。そのためには、NGO などとパートナーシップを結び、政治家達に訴え、政府も巻き込んで、地域社会の飲み水を確保し持続可能な水資源を維持する政策を立ち上げるのが一番だと思います。

私は日本に来る前にはナイジェリア東部地域のリーダーでした。そのため私は政府の役人や政治家達の何人かを良く知っているので自分自身の考えていることや計画を彼らに伝えることができます。NGO や政府の政策に関与できるようになれば、地域社会に持続可能な水資源を提供する方法や政策を提示することは十分可能です。

今後は、日本で経験を積んだ後、ナイジェリアに戻り、ナイジェリア国民のために水資源を如何に持続的に維持していくかを目指していきたいと思っています。以上がナイジェリア人としての私の夢であり、これからの私の進む道です。

最後になりますが、燦燦会の皆様にご挨拶を申し上げます。このような大変素晴らしい機会を頂き、私の上智での学生生活はとても実りあるものとなりました。本当にありがとうございました。

Nnaemeka さん、素晴らしいプレゼンテーションをどうも難うございました。今後のナイジェリアでのご活躍とご成功を燦燦会一同心よりお祈りしています。(佐藤洋子要約・記)